

第12回血液検査機器技術セミナー

「クロスミキシングテストの参考書」

クロスミキシングテストの実症例



症例 1:検査データ、患者背景

(基準範囲)

10月〇日 12.6

PTsec (10.5-13.3sec) PT活性 94.8

(80-125%)

(23.0-35.0 sec)

APTT

フィブリノゲン (190-405 mg/dL)

アンチトロンビン (70-125%)

(<5.0 ug/mL)

(<1.0 ug/mL)

FDP

CRP

D-dimer

白血球数 (3500-8500 /µL)

アルブミン

コリンエステラーゼ (215-460 U/L)

血小板 (15-35 万/µL) Hb (11.5-14.5 g/dL)

(4.0-5.0 g/dL)

(<0.2 mg/dL)

T-Bil (0.2-1.0 mg/dL)

3200

52.0

340

114

< 2.5

0.6

0.2

14.0

4.4 388

0.05

0.7

60歳代 男性

【主訴】出血斑

【既往歴】黄斑変性症

【現病歴】

2ヵ月前から下肢に径3mm 以下の紫斑を数カ所に認め る。頬粘膜に血種あり。

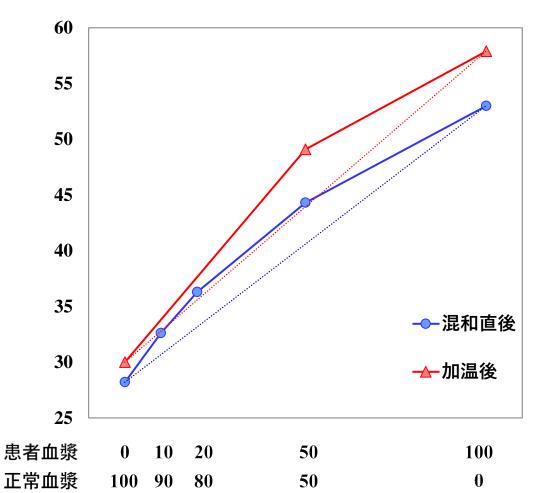


症例 1: APTTクロスミキシングテスト

APTT試薬:トロンボチェックAPTTーSLA

正常血漿:健常人プール血漿 測定装置:コアプレスタ2000

APTT (sec)



ICA = 30.4 %

1:1 %Correction = 35.1 %

4:1 %Correction = N/A

CMT index = N/A

ALD50 = 100.9 %

WaS = 1.6 %



症例 2:検査データ、患者背景

(基準範囲)

5月〇日 (10.5-13.3sec) 12.0

PTsec

PT活性 (80-125%)

(23.0-35.0 sec)

フィブリノゲン (190-405 mg/dL)

アンチトロンビン (70-125%)

FDP (<5.0 ug/mL)D-dimer (<1.0 ug/mL)

白血球数

アルブミン

APTT

T-Bil

CRP

Hb

(4.0-5.0 g/dL) 4.7 (215-460 U/L) 31.8

コリンエステラーゼ

血小板

(3500-8500 /µL)

(0.2-1.0 mg/dL)

(<0.2 mg/dL)

(15-35 万/µL) (11.5-14.5 g/dL)

13.1 5130

0.5

0.14

96.6

43.7

321

< 2.5

0.6

31.0

めた。

50歳代

【既往歴】

らず

なし

【現病歴】

女性

【主訴】甲状腺癌手術予定

中学生時なかなか生理止ま

他院で2 回の帝王切開、甲

状腺癌手術時は止血に問題

術前検査でAPTT延長を認

出血時間 IVY法 1回目 10分以上 2回目(再検査) 9分



症例 2: APTTクロスミキシングテスト

APTT試薬:トロンボチェックAPTT-SLA

正常血漿:健常人プール血漿 測定装置:コアプレスタ2000

APTT (sec)

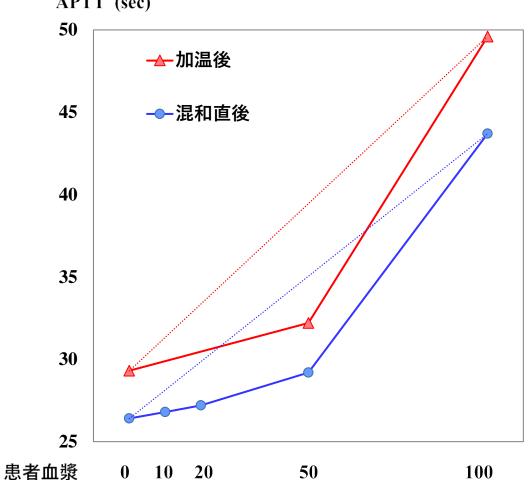
正常血漿

症例 97

100

90

80



50

0

$$ICA = 6.4 \%$$

$$4:1 \% Correction = N/A$$

$$CMT index = N/A$$

$$ALD50 = 83.3 \%$$

$$WaS = -3.2 \%$$



症例 3:検査データ、患者背景

(基準範囲)

10月〇日

PTsec

12.8

PT活性 **APTT**

フィブリノゲン

アンチトロンビン

FDP

D-dimer

血小板

Hb 白血球数

アルブミン

コリンエステラーゼ

T-Bil CRP

60歳代 女性

【主訴】不明

【既往歴】不明

【現病歴】出血あり

他施設からの問い合わせ

82.3

90.2



症例 3:APTTクロスミキシングテスト

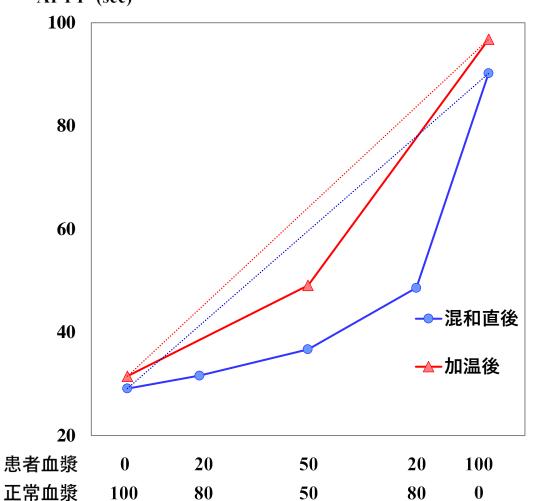
APTT試薬:トロンボチェックAPTT-SLA

正常血漿:健常人プール血漿

測定装置: CS-5100



症例 106



$$ICA = 8.4 \%$$

$$ALD50 = 61.5 \%$$

$$WaS = 26.5 \%$$



PTsec

PT活性

APTT

FDP

D-dimer

血小板

白血球数

アルブミン

Hb

T-Bil

CRP

フィブリノゲン

アンチトロンビン

(基準範囲)

70歳代 7月〇日

男性

【主訴】膀胱出血

【既往歴】膀胱癌、狭心症

【現病歴】

膀胱より出血を認めた ため当院受診

症例 4:検査データ、患者背景

(10.5-13.3sec)

13.3

(80-125 %) 104.6 83.2

(23.0-35.0 sec) (190-405 mg/dL)

(70-125%)

(<5.0 ug/mL)(<1.0 ug/mL)

(15-35 万/µL)

(11.5-14.5 g/dL)

(3500-8500 /µL)

(4.0-5.0 g/dL)

コリンエステラーゼ (215-460 U/L)

(0.2-1.0 mg/dL)(<0.2 mg/dL)

10.9 6500 4.0

244

36.3

8.0 0.7

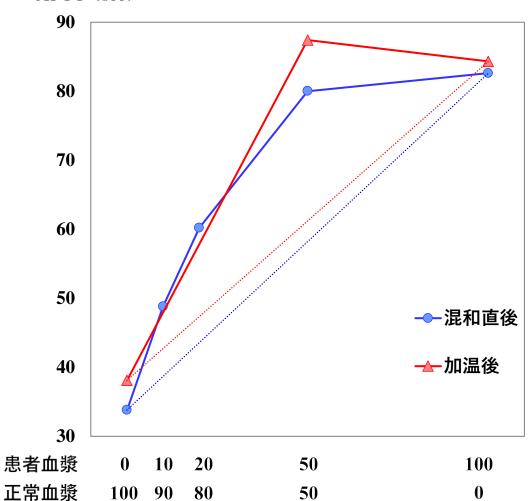


症例 4:APTTクロスミキシングテスト

APTT試薬:コアグピアAPTT-N

正常血漿:コアグトロールN 測定装置:コアプレスタ2000

APTT (sec)



$$ICA = 55.9 \%$$

$$CMT index = N/A$$

$$ALD50 = 137.5 \%$$

$$WaS = 7.2 \%$$



症例 5:検査データ、患者背景

APTT

FDP

D-dimer

血小板

Hb

T-Bil

CRP

フィブリノゲン

アンチトロンビン

(基準範囲)

4月〇日

99.4

49.3

370

123

9.5

1.4

(10.5-13.3sec) 11.2

PTsec PT活性 (80-125%)

(23.0-35.0 sec)

(190-405 mg/dL)

(70-125%)(<5.0 ug/mL)

(0.2-1.0 mg/dL)

(<1.0 ug/mL)(15-35 万/µL) 32.5 (11.5-14.5 g/dL) 11.2

(3500-8500 /µL) (4.0-5.0 g/dL)

(<0.2 mg/dL)

(215-460 U/L)

白血球数 アルブミン コリンエステラーゼ

8,490 疱部より出血を認めた。第 6.1 6病日に行った凝固検査に 106 おいて異常を指摘された。 0.4

【現病歴】

め、類天疱瘡の診断のもと、

第1病日よりプレドニゾロ ン 30mgの投与が開始され

全身に水疱を伴う皮疹を認

た。第5病日より全身の水

【主訴】皮疹 糖尿病

【既往歴】腎細胞癌

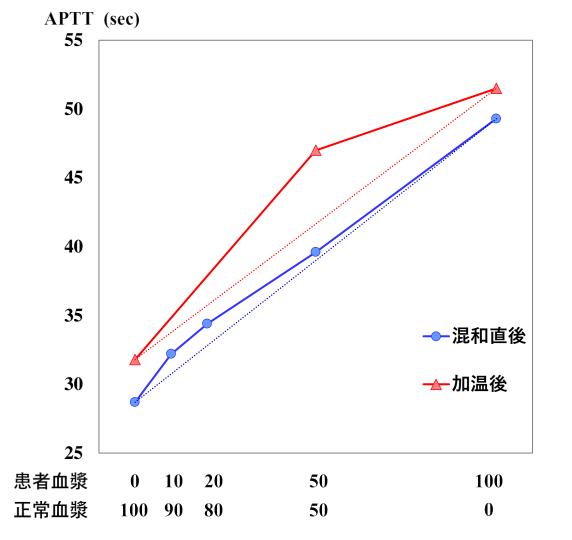
70歳代 男性



症例 5:APTTクロスミキシングテスト

APTT試薬:コアグピアAPTT-N

正常血漿:コアグトロールN 測定装置:コアプレスタ2000



$$ICA = 22.1 \%$$

$$4:1 \% Correction = N/A$$

$$CMT index = N/A$$

$$ALD50 = 101.5 \%$$

$$WaS = 14.2 \%$$